

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

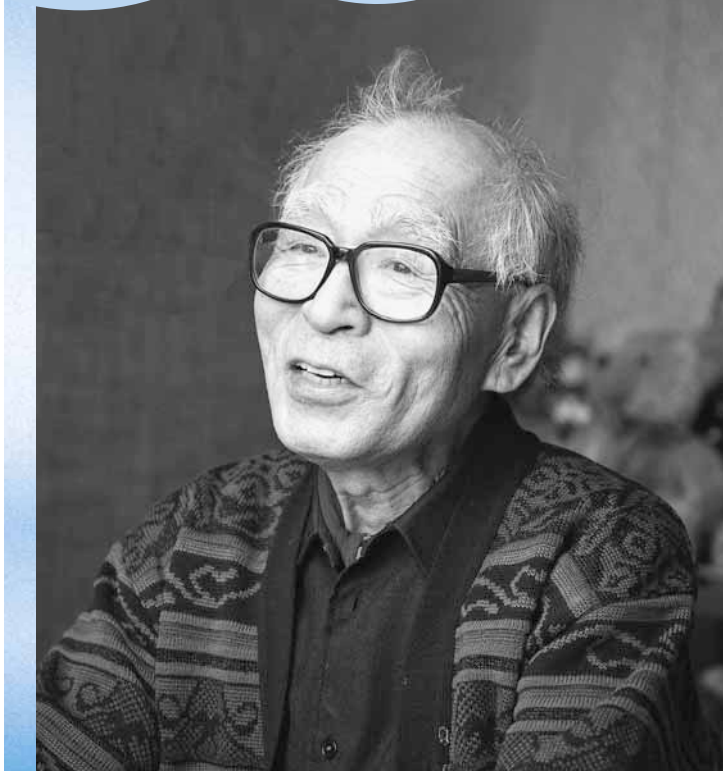
◎区民のページ 2008・12



まちの人

世界各国の馬車の模型を作り続ける

たかしま ひでお
高嶋 英雄 さん (78)



■馬車の模型が整然と並ぶ自宅の庭の展示小屋。すべての作品の車輪が動き、扉も開閉可能。観覧希望者には公開している。

昔は札幌でも主要な交通手段として活躍していた馬車。しかし、今では見掛けることはほとんどありません。八軒在住の高嶋さんは、定年退職後、子どものころの馬車のある風景を懐かしみ、馬車の模型を作り始めました。「昔の風景は心の中にあり、写真に撮ることができないから、模型で再現しよう」と考えたそうです。

「当時の生活はとても厳しかったけれど、みんなの心の中には今よりゆとりがあったように思う」と振り返る高嶋さん。父親と二人で真夜中に馬車に乗り、ニシンの買い付けのために銭函や朝里まで行

馬車と人間の歴史に魅せられて

ったことなどがい思い出になっているそうです。

高嶋さんはその後、馬車に関する文献を読むうちに馬車の歴史に魅せられ、世界各国の馬車の模型を制作するようになりました。「単に輸送の道具にとどまらず、競技用や若者のデート用など、何千年も前から付き合ってきた馬車と人間の歴史が面白い」と感じ、現在までに約六十台もの馬車の模型を完成させました。

模型はすべて図面から自作。イラストや写真を基に、まず車輪の直径を決め、バランスを考えながら高さや長さを決め、木製で精密にできています。きれいな新車や、使い込んだ風合いを出したものなど、馬車の魅力を引き出すために一台一台丁寧に施された塗装も見事。模型を見ていると当時の様子が背景に広がってくるような気持ちにさせられます。

高嶋さんのお気に入りの一台を尋ねると「決められない」とのこと。で、「フランスの王様が王妃のために特注した」「車輪のスポークに印を付けることで日にちを数えた」など、馬車にまつわる話を楽しそうに語ってくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係(上欄へ)。

特集

山野を田畑に

～上手稲にみる
明治の移住者の苦労

上手稲は、現在の西町、宮の沢、西野、福井、平和、小別沢と呼ばれている地域で、明治五年に発寒村から分離した手稲村の三つの大字のうちの一つでした。上手稲開発に尽力した移住者たちの苦労、足跡を追います。

礎

上手稲の開拓は、発寒に移住していた岩手県人の中田儀右衛門が慶応四（明治元）（一八六八）年から実績を上げたことが記録に残っています。しかし、この地域の本格的な移民と開拓の進行は、明治四（一八七二）年新潟県人五戸の西野二股付近（当時のベッカウス）への入地や仙台的白石からの集団移住といわれています。

仙台藩白石からの集団移住

戊辰戦争後、藩を追われることとなった仙台藩白石の片倉家の家臣たちは、北海道への移住を決意しました。難破や病気などにも見舞われる中、五百八十五人が小樽に上陸しましたが、収容できる建物が無く、開拓使の指示で、石狩に行くことになりました。海岸沿いを子どもも老人も手を取り合い、声を掛け合って歩いたそうです。その後、白石村へ移住した者を除く二百四十一人が発寒村に入りました。これを機に発寒村から分離

◆教育の先進地◆



▲三木 勉

明治五（一八七二）年五月、上手稲移住の仙台藩士たちを率いた三木勉は、移住者の子弟の教育も重要と考え、自ら教育に当たりました。カシワの木の手皮をはいで屋根をふき、カヤで周りを囲い、サクラの皮で「時習館」と目標を掲げました（右下写真）。

明治四（一八七二）年に函館に函館学校、札幌に資生館という公設の学校が開かれています。この「時習館」は、札幌地方の私設の学校形態としては最も古いもので、現在の手稲東小学校の前身に当たります。

「時習館」という名は「学※注ンデ時ニコレヲ習フ」という論語の一節から取ったものです。教える内容は、読書、習字、



▲時習館模型（手稲東小学校所蔵）

算術の学習を中心とし、特に、当時そろばんによる計算が主流であった中、三木は筆算を取り入れるなど、進んだ教育を行いました。その評判を聞いた近隣の地域からも多くの子弟が通ったとされています。

※注・論語の最初の一節「学まなぶんで時にこれを習まなぶう亦説またばしからずや」（意味・教しなえを受けたり書物を読んだりして学んだことを、折に触れて繰り返し学習することによって身に付けてゆくのはなんと楽しいことではないか）「三省堂大辞林」より



▲時習館記念碑（西町南19中の川公園内）

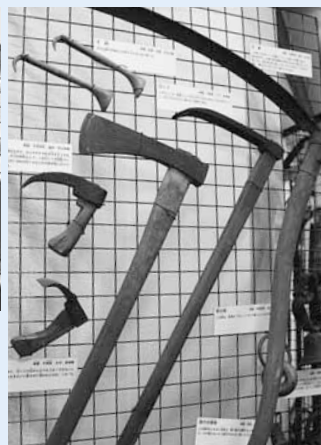
▶水田の排水溝などを掘るのに利用された「ほそ」(手稲記念館所蔵)



1



▲各種「のこぎり」(手稲記念館所蔵)



▶アメリカ譲りの「洋鎌」(右端)や臼を作る際に使われた「臼くり」(手稲記念館所蔵)



2



4



3



5



9



10

道具・農具

開拓使に雇われ来れした堀三義は「北役日誌」の中に数々の洋式農具や道具が便利に使われている驚きを記しました。

◀▲水田を馬に引かせた「①ブラウ(ブラオともいう)」で耕し、田畑の土を細かくするため「②ハロー」でならしてから「③ゴロ」で苗を植える所に印を付けて、田植えをした。また、もみを直接まくことも行われており、その際に使われたのが「⑤直播機」。水田の除草に使われた「④手押し除草機」。うねとうねの間を押していくと羽が回って雑草を土の中に押し込む仕組み。以前は人の手で除草していた。稲に付くドロオイムシの幼虫をすくい取るのに使われた「⑥除虫網」。左右に振りながら虫をすくい上げていた。刈り取った稲穂からもみを取るのに使われた「⑦干簀」。⑧足踏み脱穀機。水力を利用して米や麦をつくの利用した「⑨バツタリ」。手で回して風を起こして選別に使った「⑩唐箕」。(①・③・⑤・⑩手稲東小学校所蔵、ほかは手稲記念館所蔵)

し、「手稲村」が誕生しました。

当時の冬の様子を「手稲町誌」では「板敷の上にムシロがひかれ切り開かれた炉には、生木が燃えていた。ここでも石狩の浜と同じように、煙が室の内に充満していた。燃える時間より、くすぶる時間の方が多かった。床にのべた夜具は、生木から出る水分で、湿りがちであったし、朝起きてみると、凍っている部分さえあった。それを毎朝かわかすのが、女、子どもの仕事であった」と記しています。

耕地を開く

上手稲のほとんどの地域では耕地は乾燥しがちで砂利も多く、作物の栽培に適さない所も多かったため、生計を維持するのに苦労が多かったそうです。移住者たちはその対策として、桑園を開きカイコを飼うことが多く、かなり遅くまで五天山のふもとには桑畑が残っていたといえます。少しずつ麦や豆などの栽培も始められましたが、それだけでは生計維持は難しかったため、福井や盤溪の山で造材、

炭焼きに従事して生活を支えました。

道路から一步奥に入ると、うっそうとした森林とクマザサの生い茂るやぶのため、クマやオオカミなどの野獣に生活を脅かされることも多かったようで、明治十九(一八八六)年ごろの記録に「クマ十八頭、オオカミ三十一頭を捕獲し褒賞金五百三十四円を得た」とあります。当時の五百円といえはなかなかの大金でした。野獣退治には相当の力を入れる必要性があったということです。

水田開発への道

耕地が広がるにつれ、麦や大豆などが収穫されるようになりましたが、人々には米食へのあこがれがありました。買うにしても、米価は輸送に関連して跳ね上がることも多く、自給自足を望むようになりました。

水田造りには、つるはしや鍬、木のつるで作った「もっこ」などを使い、二人掛かりで石や木の根を運び、高い所は削り、低い所は土を盛り、川に沿った所



◀開村用水記念碑（平和2-8）（左写真）
用水開さく記念碑（西野8-6）（右写真）

は埋め立てて平らに整地するという重労働でした。

平和地区では、丘陵地のため水の利が悪く、初期の水田造りは難航しました。そこで、平和の滝の上流から用水路を造り、自然流水を利用して田に引き入れるようにしました。水田には土を練ってどろどろにしたものを塗り、同じように水田の仕切りであるあぜにも土を当て、水漏れを防ぎました。用水路と水田の水の温度が比較的変わらないうちに水を入れるなど、水田の水がいつも温かいように努力したそうです。

西野地区では、明治三十三（一九〇〇）年に発寒川（現在の琴似発寒川）から導水し、長さ四キロに及ぶ「広島開墾用水」が完成しました。西野地区の土質は赤土（粘土質）で比較的水持ちが良く、表土も深かったため、また多くの用水路の完成もあって、平和地区に続き水

田開発が急速に進みました。

一方、福井地区は石が多い土壌だったので、まず表土の良い土をはいで積み上げ、石を掘り出して田と田の境界に積み、土を掛けてたいて固めます。一枚、また一枚と段差をつけて田を作り、表土の良い土を平均にまいて平らに整地します。土地によっては水漏れを防ぐため、田に土を入れて何回も水と土を練り、がれきの空間に泥水を入れて地盤を作りました。

こうした苦勞の末、上手稲にも水田が広がっていきました。この地域で取れる米は良質とされ「西野米」として高値で取引引きされるようになりましたが、収量は一反（約三百坪）当たり四俵ほどしかありませんでした。味が良かったため、すし米などに使われ、出荷先では秋田や新潟の米の札に付け替えられることもあったようです。

もみすり水車

刈り入れた稲は自然乾燥の後、もみを取ります。そして、もみすりをして白い米に仕上げます。



▲水車（手稲東小学校所蔵）

もみすりは土臼を四、五人掛かりで回して行われていました



▲かつて西野にあった水車小屋

が、大正時代に入ると用水路を利用した水車を使うようになりました。水車はもみすりのほか、かんがい用水の誘導にも使われました。

しかし、昭和に入ってから徐々に電気モーターの精米に変わって、平成の現在、利用されているものはありません。平成二十一年（二〇〇九）年春に全面オープン予定の五天山公園には、復元された水車が設置され、公開されることになっています。

参考文献

手稲町誌上・下、新札幌市史、さっぽろ文庫1「札幌地名考」、同26「明治の話」、同40「札幌収獲物語」、同50「開拓使時代」、同77「地形と地質」、ていねひがし（札幌市立手稲東小学校開校百周年記念協賛会）、西野地区「水田地帯」への歴史水車は語る（西野地区に水車を復元する会・西野まちづくりセンター）

取材協力

- 札幌市立手稲東小学校
- 手稲記念館



▲手稲記念館郷土資料展示室（西町南21）
旧手稲町開拓の歴史にゆかりのある貴重な資料が多数保存・展示されています。
●開室日時 月・水・金・土曜日（祝日・年末年始を除く） 午前9時～午後5時 ●Tel.661-1017



風船遊び楽しいな!

10月19日、生涯学習総合センター（ちえりあ）で「ハッピー子育て2008」が開催され、約450人の親子が参加しました。

子どもたちは、風船や折り紙などで遊んだり、ステージで歌や踊りが披露されると、一緒になって飛び跳ねたりして、会場には元気な声が響いていました。



みんなの善意で支え合い

11月11日、西区民センターで西区共同募金会主催の「チャリティー演芸大会」が開催され、地域住民ら約200人が、器楽演奏や郷土芸能などを楽しみました。

会場入り口などには募金箱が置かれ、訪れた多くの方が募金に協力して、赤い羽根を襟元に着けていました。



▲パッチワークなどの作品展示(西野地区センター)

文化の薫りを届けます

10月中旬から11月上旬にかけて、西区民センターと西野・はっさむ両地区センターで、年に一度の文化祭が開催されました。

会場では、繊細な手芸作品や色鮮やかな絵画などの展示、フラダンス・日本舞踊などの舞台発表が行われ、それぞれのサークルが日ごろの活動の成果を披露しました。



▲舞台発表の様子(はっさむ地区センター)



▲お茶席の様子(西区民センター)

ひまわり

区内で行われた
行事を写真で
紹介します。



広告



12月11日からの内容です

人口 209,266人 男 97,501人
(前月比+30) 女 111,765人
世帯数 94,806世帯 (前月比+77)
(平成20年11月1日現在)

西区成人式のご案内



日時 1月12日(祝)午後1時
～3時(式典は午後1時30分
から)。
会場 西区体育館(発寒5-
8)。
対象 昭和63(1988)年4
月2日～平成元(1989)年
4月1日生まれの方。
※西区に住民登録している方

には、12月5日(金)に案内状
を送ります。案内状が12月
12日(金)までに届かない場合
は左記までご連絡ください。
その他 ①住民登録を終えて
いない方、帰省中の方も参加
できます②自家用車での来場
はできません③式典では手話
通訳があります。
詳細 西区地域振興課Tel(641)
2400内線252

新春書き初め展示会

〈作品募集〉

対象 西町・西野・山の手・
福井・平和地区に在住の小・
中学生。※個人応募のみ。
作品規格 半紙・画仙紙など。
申込 12月24日(水)～1月7
日(水)午前9時～午後9時
(12月29日(月)～1月3日(土)
を除く。7日は午後3時まで)
に所定申込用紙に必要事項を
記入の上、作品と一緒に提出。
〈展示会・表彰式〉
期間 1月9日(金)～16日
(金)午前9時～午後9時(16
日は午後3時まで)。
表彰式 1月17日(土)午前10
時(予定)。
会場 西野地区センター(西
野4-12)。
※金・銀・銅賞の入賞者には
電話でお知らせします。入賞

夜間納税相談

平日の日に中に時間の取れな
い方のために、夜間納税相談
窓口を開設します。
日時 12月11日(木)、18日
(木)、22日(月)、24日(水)、
25日(木)。いずれも午後8時
まで。

者には記念品、そのほかの方
には参加賞を差し上げます。
申込先・詳細 西野地区センタ
r Tel(666)5550

プレマクッキング



会場 西区役所(琴似2-17)
2階③番窓口(庁舎裏側職員
通用口からお入りください)。
必要書類 納税通知書、督促
状、催告書のいずれか。
詳細 西区納税課Tel(641)24
00(代表)

内容 講話と調理実習。
日時 1月16日(金)午前10時
～正午。
会場 西区民センター(琴似
2-7)。
対象 西区在住の妊婦の方。
定員・費用 20人。無料。

親子の食育体験講座

内容 「食育」をテーマにした調理実習、講話^{ほか}。
日時 下表の通り。
会場 西健康づくりセンター(八軒1西1)。
対象 小学生とその保護者。
定員・費用 各期10組。1組3,500円。
申込 12月26日(金)までに電話か直接来館、E
メールで。多数時抽選。

■日時 (第1期と第2期は同内容。)

第1期	・1月11日(日) 午前10時30分～午後0時30分 ・1月13日(火) 午後3時15分～4時15分 (全2回)
第2期	・1月25日(日) 午前10時30分～午後0時30分 ・1月27日(火) 午後4時15分～5時15分 (全2回)

申込先・詳細 西健康づくりセンターTel618-8700、
Eメールwest-school@sapporo-hpc.com

子育て講座

内容 下表の通り。
会場 西保健センター(琴似
2-7)。
対象 西区在住で0歳～就学
前までの子どもを持つ保護者。
※別室で託児あり。
費用 無料。
申込 ①は12月16日(火)、②
は12月22日(月)の午前9時か
ら電話で。先着順。

■子育て講座

講座名	日時	定員
①楽しい食事で 丈夫なからだづくり	1月21日(水) 午後2時～3時30分	20人
②グループ懇談会 「おしゃべり広場」	1月27日(火)、29日(木) 午前10時～11時30分	10人

申込先・詳細 西区健康・子ど
も課子育て支援係Tel(641)24
00内線484

平成20年度 自治振興功労者表彰

長年地域の発展に尽くされた方の功績をたたえ、11月17日に「札幌市自治振興功労者」の表彰式が行われました。

西区からは、二十四軒東連合町内会会長の本間茂雄さん、元・山の手連合町内会会長の熊井博さんが表彰されました。心からお祝い申し上げます。



本間 茂雄さん



熊井 博さん

○消火栓除雪のお願い○

消火栓は、火災を消すために降雪期でも使用できるように、消防職員・消防団員が総動員で除雪を行っていますが、大雪の際は除雪が行き届かなくなることも考えられます。

地域の安全確保のため、ご自宅やお勤め先の周辺にある消火栓の除雪にご協力をお願いします。

【詳細】 西消防署警防課 TEL667-2100



山の手図書館から

▽クリスマスおたのしみ会
日時・内容 12月16日(火)午後3時～3時30分Ⅱ「クリスマス



マス会」^{ほか}。
▽たのしいおはなし会
日時・内容 12月20日(土)午後2時～2時20分Ⅱ「ぶんどくちやがま」^{ほか}。
▽小学生のためのおはなし会
日時・内容 12月20日(土)午後2時30分～3時Ⅱ「北風をたずねていった男の子」^{ほか}。
▽子ども映画会
日時・内容 12月11日(木)Ⅱ「雪だるまになったオオカミ」^{ほか}、25日(木)Ⅱ「雪うさぎと子供たち」^{ほか}。共に午後3時30分～4時。

日時 1月25日(日)午前9時～午後5時。
会場 西区体育館(発寒5-8)。



第21回西区長杯女性ソフトテニス大会

▽年末年始の休館日
12月29日(月)～1月3日(土)
【詳細】 山の手図書館(山の手4-2) TEL(644) 6822

西区体育館・温水プールから

▽西区体育館スポーツ教室
内容 下表の通り。
申込 12月11日(木)～17日(水)午前9時～午後9時(15日を除く)に直接来館するか電話で。多数時抽選。抽選結果は、12月18日(木)午後3時以降に電話などで確認してください。
▽はつらつ体操教室
内容 ストレッチ、栄養に関する講話、茶話会など。
日時 1月7日～3月25日の水曜。いずれも午前10時～11時20分。全11回。
対象 65歳以上で、医師から運動を認められている方。
定員 15人。

対象・定員 西区在住の女性(高校生以下を除く)。50人。
費用 千円(弁当付き)。
申込 12月15日(月)～1月13日(火)に申込先へ電話で。多数時抽選。
申込先 西区家庭婦人ソフトテニス親睦会倉橋国子さん宅 TEL(611) 8475。
【詳細】 西区地域振興課 TEL(641) 2400内線237、西区家庭婦人ソフトテニス親睦会湯村維津子さん宅 TEL(641) 0252

■西区体育館スポーツ教室

対象	教室名	時間	期間・曜日・回数	定員	受講料
小学3～6年	少年少女サロソフトボール	午後4時～6時	1月6日～2月12日(火/木) 全12回	30人	8,400円

■休館のお知らせ

場所	整備のための休館	年末年始休館
体育館	12月15日(月)	12月29日(月)～1月3日(土)
温水プール	12月15日(月)～28日(日)	※1月4日(日)から通常営業。

費用 4千400円。※ほかに、毎回施設利用料130円が必要。
申込 12月11日(木)～24日(水)午前9時～午後9時(15日を除く)に直接来館するか電話で。多数時抽選。
▽休館のお知らせ
左表の通り。

【申込先 詳細】 西区体育館・温水プール(発寒5-8) TEL(662) 2149

年末年始の 業務案内

窓口業務

印鑑証明、死亡届、市税の納入など年末年始の業務については、本誌34ページをご覧ください。

西区民センター・各地区センター

年末年始は下表の通り休館します。
※休館期間中の貸室使用申し込みは、西区民センターでは12月28日(日)、各地区センターでは12月27日(土)に繰り上げて受け付けます。

施設名	電話番号	休館日
西区民センター (琴似2-7)	641-4791	12月29日(月) ～1月3日(土)
西野地区センター (西野4-2)	666-5550	
はっさむ地区センター (発寒10-4)	662-8411	
はちけん地区センター (八軒6西2)	611-0966	

相談コーナー

相談内容	相談日・時間	12月最終日	1月初日
①法律	第2・4木曜日 午後(1人約20分) ※当日午前9時から電話で 予約受け付け(Tel641-2400)。 定員8人/日。先着順。	25日(木)	8日(木)
②行政	月曜日 午後1時～4時	22日(月)	5日(月)
③交通事故	金曜日 午前9時30分 ～午後0時15分 午後1時～4時	26日(金)	16日(金)
④家庭生活	火・水曜日 午前10時～正午 午後1時～4時	24日(水)	6日(火)
⑤職業	月～金曜日 午前8時45分 ～午後5時	26日(金)	5日(月)

【詳細】 ①～④西区総務企画課広聴係Tel641-2400(内線224～227) ⑤西区地域職業相談室(ジョブガイド西)(琴似1-6 札幌琴似第一ビル2階)Tel623-2787

ごみ収集

ごみの収集は12月31日(水)～1月4日(日)まで休みます。各地区の年末年始の収集日は右表をご覧ください。

※一部の地域で、通常の収集時間帯より早くなる場合があります。ごみは必ず収集日当日の朝8時30分までに、ごみステーションへお出しください。

【詳細】 西清掃事務所(発寒15-14)
Tel664-0053



区分	収集地区	12月最終日	1月初日
燃やせるごみ	月・木曜日の地区	29日(月)	5日(月)
	火・金曜日の地区	30日(火)	6日(火)
燃やせないごみ	水曜日の地区	24日(水)	7日(水)
	木曜日の地区	25日(木)	8日(木)
	金曜日の地区	26日(金)	9日(金)
資源の日 ●びん・缶・ペット ボトル ●プラスチック	月曜日の地区	29日(月)	5日(月)
	火曜日の地区	30日(火)	6日(火)
	水曜日の地区	24日(水)	7日(水)
	金曜日の地区	26日(金)	9日(金)
大型ごみ (電話申し込み制による戸別有料収集) 収集日の2日前までに大型ごみ収集センター (Tel281-8153)へお申し込みください(西区の 収集日は毎週水曜日)。		24日(水)	7日(水)